

☆チャレンジ 岩滝っこ!☆

岩滝小学校 研究推進委員会
R3. 10. 22 NO. 7

☆6-2研究授業「江戸幕府と政治の安定」☆

10/20(水)、6-2で社会科の研究授業を行いました。新しい時代の学習に入ると聞いた途端、「学習問題!」とつぶやく子ども達。岩滝小スタイルの「学習問題づくり」が定着している6年生を頼もしく感じました。授業の様子を紹介します!



◆3択クイズで楽しく導入!◆

第1問:安土桃山時代は何年間続いたでしょう? ①10年 ②30年 ③50年

さっと手を挙げる子ども達。これまで安土桃山時代について学習してきた子ども達は、自分で予想しながら、思い思いに手を挙げていきました。3択クイズの導入で、どの子も手が挙がります。

第2問:江戸時代は何年間続いたでしょう?

今度は3択ではありません。時代の長さを表したテープが提示されると子ども達の「おーっ!」の声。江戸時代のテープが安土桃山時代を超え、どんどん伸びていくと「えーっ!」「うそやろ!」「教室から出てしまうやん!」と興味津々で見っていました。

江戸時代が260年続いたことを知り、その長さに驚きの「えーっ!」と「なんで?」の声。頭の中に疑問をもちながら、学習問題作りに入っていました。

江戸時代、なが〜い!
教室から出てしまいそう!
一目でわかります!



◆学習問題づくりにチャレンジ!◆

子ども達の「なんで?」から学習問題を作ります。「まずは自分の学習問題を2分で作りましょう」の指示を聞き、さっと静かに鉛筆を走らせました。

1人1人が作った個人の学習問題から生まれた学級の学習問題ができました。「江戸時代は、なぜ260年も続いたのだろうか」です。子ども達の頭の中は、「なんで?」「なんで?」でいっぱいでした。



◆仮説を立てるための資料提示◆

学習問題ができれば、次は仮説を立てます。知っている情報が何もなければ、ただの予想になってしまいます。そこで、根拠となる資料を複数提示し、それをヒントに仮説を考えられるようにしました。

「武家諸法度」の資料では、漢字から「武士の家の法律？」と予想し、その中身を読み取っていきました。「毎年4月に江戸に行くなんて大変だ」「無理！」「自分なら行かん」などのつぶやき発言があり、これを守らなかったらどうなるのか、読み取っていきました。



◆仮説を立てて、調べたいことを「自分ごと」にする◆

いよいよ「仮説づくり」です。多くの資料から根拠となることを「自分で選ぶ」ことで、学習が「自分ごと」になります。子ども達は「武家諸法度」「一国一城令」「大名配置」「参勤交代」「鎖国」「キリスト教の禁止」「身分制度」から、江戸幕府が260年間も続いた根拠となる資料を選び、仮説を立てていきました。この仮説を解明すべく、これからの学習を進めていきます。

<子ども達が立てた仮説>

- 大名配置によって大名・外様を江戸から遠いところに配置することができ、江戸幕府の安定につながったのではないか。
- 自由な貿易を禁止する鎖国によって、大名や武士に武器を持たせないようにして、江戸幕府の安定につながったのではないか。
- 参勤交代によって、武士の戦いを減らすことができ、江戸時代の安定につながったのではないか。 など



◆タブレットの活用◆

ワークシートに書いた仮説をタブレットで写真にとると、TVの画面に映し出されます。発表するときには、さらにその児童のワークシートだけを大きく映すことができます。発表用の大きな短冊に書き写す時間が短縮でき、考える時間や意見交流の時間を確保することができます。タブレットの活用は、子ども達の学習意欲の向上にも役立っています。



* 社会科で大切にしたいこと・・・「自分ごと」「問いつくり」「学ぶ楽しさ」・・・

子ども達の「なぜ？」を引き出す導入を工夫することで、児童自身が「学習問題」を作り、「自分ごと」に引き寄せて学習を進めていけるような授業づくりを、これからも大切にしていきたいと思います。